

2021年度 | オンライン
第8回 | ライブ配信

私学マネジメント協会
定例セミナー

「資質・能力」を育成する パフォーマンス評価

—間違いだらけの「ルーブリック評価」を乗り越える—

2022年1月開催の私学マネジメント定例セミナーでは、京都大学大学院教育学研究科教授の西岡加名恵氏にご登壇いただきます。「資質・能力」のバランスがとれた学習評価を行うために、パフォーマンス評価の導入が推奨され、学校教育の場において「ルーブリック」が広まりました。その一方で、「ルーブリック評価」という誤った認識も流布しています。

本講演では、この間違いだらけの「ルーブリック評価」を正し、パフォーマンス課題のつくり方やポートフォリオ評価法の進め方、観点別評価や高大接続との対応について検討します。「資質・能力」を育成する上で効果的なパフォーマンス評価の活かし方を考える機会となれば幸いです。皆さま、ぜひご参加ください。

キーワード

パフォーマンス評価

ルーブリック

単元設計

ポートフォリオ

日時

2022年

1/25 火
TUE

16:00~18:00

配信
ツール

Zoom

※受講者の皆様には
セミナーの詳細を
メールでお送りします。

対象

私学の
教職員の方

費用

11,000^(税込)円/人

私学マネジメント協会
会員校は無料

講師



西岡 加名恵

にしおか かなえ

京都大学大学院
教育学研究科教授

Message

パフォーマンス評価が推奨されている背景には、知識を暗記・再生することにはとどまらない「思考力・判断力・表現力」や、生徒自身が課題を設定する「探究力」の育成を重視する、という学力観の転換があります。本セミナーでは、そのような学力観の転換を踏まえつつ、どのように教科の単元設計を行えばよいのか、観点別評価を実践する際に学力評価計画をどのように作ればよいのか、またポートフォリオ評価法にはどのような可能性があるのか、といった点についてご紹介いたします。

Profile

専門は教育方法学（カリキュラム論、教育評価論）。「育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方に関する検討会」委員、「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）支援事業の今後の方向性等に関する有識者会議」委員など。主著は、単著『教科と総合に活かすポートフォリオ評価法』（図書文化、2003年）、単著『教科と総合学習のカリキュラム設計』（図書文化、2016年）、編著『「資質・能力」を育てるパフォーマンス評価』（明治図書、2016年）、共編著『教科の「深い学び」を実現するパフォーマンス評価』（日本標準、2019年）、編著『高等学校 教科と探究の新しい学習評価』（学事出版、2020年）など。

■ お申込みについて



左のQRコードまたは下記のURLから私学マネジメント協会のホームページにアクセスし、「**セミナー申込み**」へ進んでください。
申込フォームに必要事項をご入力の上、送信してください。

私学マネジメント協会 <https://school-management.jp/>

受付完了後、ご入力いただいたメールアドレスに「受付完了メール」が自動送信されます。
数時間たっても受信しない場合は、お手数ですが、再度お申込みください。

■ ご請求について

開催終了後に、受講料の請求書をお送りします。(会員校は無料)
期日までにキャンセルのご連絡がない場合は、受講料を請求させていただきます。
(詳細は受付完了メールをご参照ください)

■ 感染症対策について



会場開催時における当協会の感染症対策につきましては、当協会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

講演会・各種講座・研修開催時における感染症拡大防止策について
https://www.school-management.jp/service/lecture/guideline_event.php